和歌山ろうさい病院広報誌

# わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ



和歌山ろうさい病院
副院長　中　啓吾

8月7日には立秋を迎えて暦の上ではもう秋ですが、実際には一年で一番の暑さのピーク時期です。マスクの着用で熱がこもりやすく水を飲むのも減りがちな今日この頃、皆様は熱中症の予防には留意されてますでしょうか。

熱といえば、最近は体温を測る(チェックされる)機会がいたるところで増えてきています。これまでは風邪や体調の悪いときしか使わなかった体温計、今は額(ひたい)ですぐに発熱がわかり便利になりましたが、昭和の水銀式体温計では測定に3分以上もかかりました。今年は日本ではじめて体温計が量産されはじめてから100年目にあたります。以後1983年には1分ではかれる電子体温計が登場し、主役は昭和の水銀式から平成の電子式、そして令和の赤外線式(非接触型)と体温計も進化してきています。体温は腋窩(わきの下)で測るのが一般的ですが、昔、医学の父ヒポクラテスは自分の手のひらを患者の額にあてて発熱を確認していたそうです。看護の「看(みる)」という字は目の上に手をかざしてよく見るという意味のほかに手を目の上(額)にあてて患者の熱を測っている姿も現しているようです。今でも額に手をあてて、また親子など親しい間柄ではお互いの額をあてて発熱を確認したりもします、令和の時代になって体温は額で測るという原点にまた戻ってきているのかもしれません。体温は個人差があり日本人の7割くらいは36.6℃から37.2℃の間らしく、時間(朝が低い)、気温、食事、睡眠、女性の生理周期、感情の変化などにより変動しています。自分の平熱を知っておくことは、健康のバロメーターとして体調管理にも大切です。

さて、今年は関西では観測史上もっとも早い梅雨入り、そしてあの紀伊半島豪雨から10年になります。3年前の台風21号では、当院も停電のためにエアコンや消費電力の大きい医療機器が使えず苦い経験をしました。この教訓から現在、自家発電力アップと災害時のベッド確保に向けて、災害時のための専用施設「災害医療対応棟(仮称)」が建設中であります。

熱があることは悪いことばかりでなく、熱量(エネルギー)、熱意、情熱、熱心、などはさまざまな困難に立ち向かってゆくのに不可欠なものです。和歌山ろうさい病院はこれからも災害拠点病院により相応しい病院として、新型コロナにも負けないスタッフ全員の熱意とともにさらにパワー(エネルギー)アップしてゆきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構
和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1
TEL.073-451-3181 (代)　FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用 FAX)
E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp　URL.https://www.wakayamah.johas.go.jp/

**和歌山ろうさい病院理念**　地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

# 脳神経内科のご紹介

脳神経内科部長　檜皮谷　泰寛

脳神経内科はヒトの脳・脊髄・末梢神経・筋肉に生じる色々な疾患の診断と治療を行う内科の専門分野です。ふるえ，しびれ，頭痛，めまい，ふらつき，脱力，麻痺，歩行障害，認知症，意識障害やけいれんなどの症状でお困りになられている方の病気を診断しています。

日本では1975年に「神経内科」の標榜が承認され，1980年に京都大学で初めての臨床講座が開設されました。その後神経内科専門医は徐々に増え現在では5500人以上の神経内科専門医が登録されております。

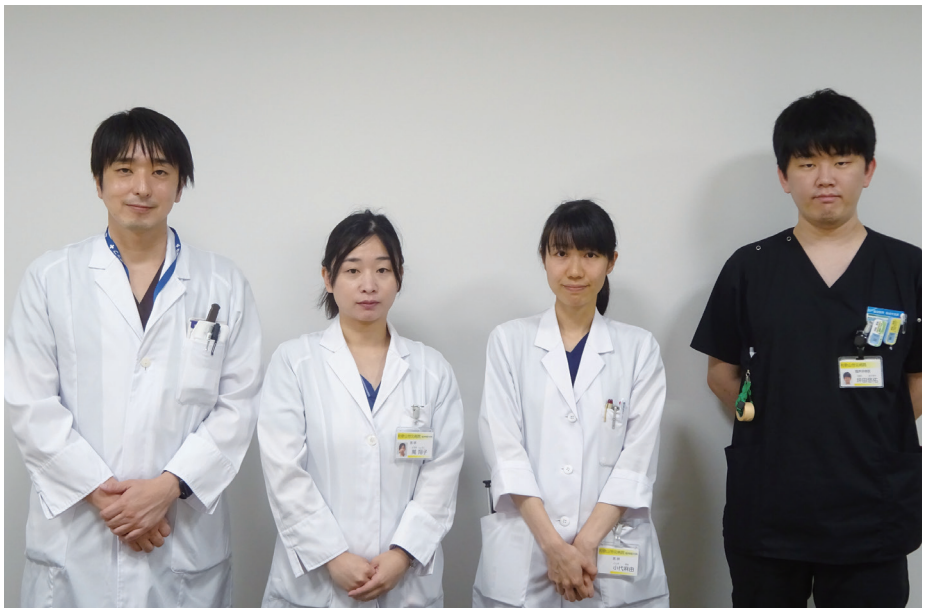
2016年に標榜科が「神経内科」から「脳神経内科」へ変更となりました。これは診療内容が世間に広く知られている「脳神経外科」の内科側のカウンターパートであり，脳・神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療する診療科であることがわかりやすくする狙いがありました。これにより神経内科を受診してほしい患者さんが神経内科受診を思いつかずに，診断がつかない状態が何年も続いたり，適切な治療のタイミングを逸したりすることを防ぎ，神経内科の専門診療を必要とされる患者さんの大きな利益になると考えられたからです。

脳神経内科の最大の特徴は，患者さんの病歴を丹念に訊ね，神経学的診察を行うことにより診断を行います。必要に応じてMRIやCT，SPECTなどの画像検査や，神経伝導検査，針筋電図，脳波などの神経生理学的検査を行います。また，当院では大学病院と連携して神経生検や筋生検といった病理検査や遺伝子検査を行うことも可能です。

当院では現在常勤医3名で外来及び入院診療を行っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

専門分野

パーキンソン病，パーキンソン症候群，脊髄小脳変性症，筋萎縮性側索硬化症，アルツハイマー病，多発神経炎，ギランバレー症候群，重症筋無力症，筋ジストロフィー，多発筋炎，多発性硬化症，髄膜炎，脳炎，片頭痛，緊張型頭痛，三叉神経痛，てんかんなど



# 『大阪コロナ災害における当院のDMAT活動について』

第二救急科部長　北山　淳一

要請があったのは、大阪府で長時間の救急車内待機が報道されて間もない頃でした。4月下旬、満を持して大阪府はコロナ診療に対するDMAT医師派遣を隣県に依頼しました。ダイヤモンド・プリンセス号以来の感染に関する要請であり、報道でも注目されました。

しかし感染に対する自己防衛の気運が高まる中、要請の妥当性や通常診療への影響などが懸念されました。そんな心配を払拭するかのように、和歌山県内の医師が次々と志願しました。最終的に4月30日から5月11日までの12日間、ほぼ全日を和歌山DMAT医師が出向することになったのです。そのうち当院では救急科部長の岩﨑先生が和歌山県統括DMATとして和歌山県との調整役を、そして大阪へは私が5月5日、同じく救急科の福島先生が5月9日、10日に赴きました。

活動場所は大阪府で2番目に設置された「入院待機ステーション」（2nd ST）、搬送先が決まらず救急車内に長時間待機しているコロナ陽性患者が対象でした。そういった患者を1度救急車から降ろし、容態観察を行いながら搬送先を探すというシステムでした。こうでもしない限り、次の救急車が出動できないほど逼迫していたようです。また大阪府下の受入病床を統括・調整する入院フォローアップセンター（FUC）が稼働していましたが、急増する患者に対応しきれなかったのです。

2nd STは病院敷地内のはずれにある2階建ての建物でした。1st STに入院希望の患者が押しかけてくるという事例があったため、場所・活動内容は全て非公表でした。ST内には、FUCと連絡を取り合う大阪府調整員2人、救急本部と情報共有を行う救急隊、レッドゾーンで診察を行う救急隊、そしてDMAT医師1人で構成されていました。

我々の役目は待機患者の容態観察と緊急度評価を行うことです。しかし2nd STは診療室ではありません。故に許されていた医療行為はモニター監視と酸素投与のみでした。状態が悪化すればFUCに連絡し、搬送先選定を急ぎます。ではもし急変した場合はどうするのか。最後まで具体的な解決策はなく、全て臨機応変な対応が求められました。

もちろん事態はもっと複雑でした。しかし、日常診療とはかけ離れた中での多職種との協力体制の構築、有用な情報収集能力とネットワークを生かした知識共有などは、従来の災害戦略と何ら変わるものではありませんでした。そして未知と変化に富んだ中で、日頃培われた和歌山県の協力体制が遺憾なく発揮されたのは間違いありません。





# 令和３年７月新任医師紹介



**内藤（ないとう）　古真（こま） 先生**

**呼吸器・乳腺外科部長**

公立那賀病院から着任しました内藤古真と申します。宜しくお願い致します。



**萬（よろず）　翔子（しょうこ） 先生**

**脳神経内科医師**

神経疾患全般をみさせて頂きます。待ち時間が長いことも多く申し訳ありませんが、よろしくお願いします。



**江守（えもり）　智哉（ともや） 先生**

**消化器内科医師**

2年ぶりに戻って参りました。今まで以上に和歌山市の地域医療に貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



**中西（なかにし）　雄大（ゆうた） 先生**

**脳神経外科医師**

7月から脳外科で勤務させていただきます。至らない点もあるかと思いますが地域の医療に貢献できるよう頑張ります。



**武田（たけだ）　惇平（じゅんぺい） 先生**

**循環器内科医師**

この度、7月から和歌山ろうさい病院でお世話になります。武田惇平です。精一杯診療に取り組む所存です。よろしくお願い致します。



**関（せき）　尭文（たかふみ） 先生**

**麻酔科医師**

新しく赴任してきた麻酔科医です。初心に帰って一生懸命やりますので、お願いします。

# 看護の日

毎年5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」とされています。「看護の日」に当院では病棟師長･師長補佐･看護師より患者様に「メッセージカード」と「ライト付きのボールペン」をお渡ししました。患者様から感謝と喜びの言葉を頂くことが出来ました。



# 「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

## 医療法人 良友会 西和歌山病院

診療科目　内科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、リハビリテーション科、放射線科

住　　所　〒640-8432 和歌山県和歌山市土入176

電　　話　073-452-1233



院長　久保（くぼ）　一紀（かずき）先生




西和歌山病院は、昭和56年8月に和歌山市土入に開設されました。久保院長先生始め他の先生方は診察時には患者様に分かりやすく丁寧な説明を心掛けておられ、地域医療の貢献にご尽力されています。また、西和歌山病院は「心のかよう地域医療」を基本理念とし、日々、医療の充実と提供に努められております。

その中でも一層、リハビリテーションと人工透析に力を入れており、平成30年に竣工の新病棟には新たなリハビリテーションセンターと人工透析室を設置されました。連携医療機関で急性期治療を終えられた患者様が、西和歌山病院で引き続き治療を受け、安心して日常生活を送れるように地域のかかりつけ医として貢献されております。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

| 西和歌山病院 診療時間 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 午前（9時～12時30分） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |
| | 午後（15時～17時） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |

# 和歌山ろうさい病院（外来診療科担当医一覧表）令和３年８月１日現在

| 診療科 | ブロック | 診察室 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 手術日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | A | ①番 | 中　啓吾 | 若﨑　久生 | 中　啓吾 | 若﨑　久生 | 中　啓吾 | ― |
| | | ②番 | 三長　敬昌 | 中尾　隆太郎 | 那須　鉄史 | 三長　敬昌 | 山本　昇平 | |
| | | ⑦番 | 大伴　裕美子（午前）<br>（腎臓内科） | 南條　輝志男<br>【第２週休診】 | ― | ― | ― | |
| 脳神経内科 | A | ⑪番 | 檜皮谷　泰寛 | （午前）萬　翔子 | 休　診 | 檜皮谷　泰寛 | 檜皮谷　泰寛 | ― |
| | | ⑭番 | ― | （午後）小代　麻由 | | 萬　翔子 | ― | |
| 血液内科 | A | ⑩番 | 阪口　臨 | 休　診 | 阪口　臨 | 休　診 | 休　診 | ― |
| 呼吸器内科 | A | ⑤番 | 前部屋　賢 | 細　隆信 | 庄野　剛史 | 細　隆信 | 当番医 | ― |
| | | ⑥番 | 辰田　仁美 | 庄野　剛史 | 前部屋　賢 | 辰田　仁美 | ― | |
| 消化器内科 | B | ⑪番 | 原　猛 | 原　猛 | 原　猛 | 原　猛 | 原　猛 | ― |
| | | ⑫番 | 与田　武徳 | 横山　英一郎 | 津田　郁久 | 垣本　哲宏 | 内視鏡センター診<br>深津　和弘 | |
| | | ⑬番 | 玉井　秀幸<br>（肝臓内科） | 岡村　順平<br>（肝臓内科） | 玉井　秀幸<br>（肝臓内科） | 玉井　秀幸<br>（肝臓内科） | 玉井　秀幸<br>（肝臓内科） | |
| | | ⑨番 | ― | 当番医 | ― | 当番医 | 当番医 | |
| 循環器内科 | A | ⑧番 | 樽谷　玲 | 九鬼　新太郎<br>（予約制） | 林　泰 | 林　泰 | 山本　康徳 | 火・木 |
| | | ⑨番 | 武田　惇平 | ― | 山本　康徳 | ― | 樽谷　玲 | |
| 小児科 | C | ⑨番 | 上田　美奈 | 上田　美奈 | 髙橋　朋香 | 小森　有紀 | 上田　美奈 | ― |
| | | ⑩番 | 土谷　充貴 | 小森　有紀 | 土谷　充貴 | 髙橋　朋香 | 小森　有紀 | |
| | | 特診⑨ | 小森　有紀 | ― | 髙橋　朋香 | 上田　美奈 | 【第1週目】<br>津田　祐子【再診】<br>【第2週目以降】<br>宮代　英吉【再診】 | |
| | | 特診⑩ | 髙橋　朋香 | 上田【予防接種】<br>乳幼児健診（15:00～）<br>【第１・３・５週】土谷<br>【第２・４週】髙橋 | 土谷　充貴 | 小森　有紀 | 心臓外来<br>土橋　智弥 | |
| 外科 | B | ⑦番 | 山本　基 | 坂口　聡 | 岩橋　誠 | 岩橋　誠 | 山本　基 | 月・火・水・木・金 |
| | | ⑧番 | 当番医 | 小林　良平 | 坂口　聡 | 福田　直城 | 小林　良平 | |
| | | ⑨番 | ― | ― | ― | ― | ― | |
| | | ⑩番 | ― | ― | ― | ストーマ外来（予約制） | ― | |
| 整形外科 | B | ③番 | 中谷　如希 | 脊椎センター診<br>麻殖生　和博 | 手外科診<br>峠　康 | 中谷　如希 | 岩田　勝栄 | 月・火・水・木・金 |
| | | ④番 | 峠　康 | 岩田　勝栄 | 籠谷　良平 | スポーツ整形診<br>麻殖生　和博 | 中村　憲太 | |
| | | ⑤番 | 当番医【紹介新患診】 | 籠谷　良平 | 山東　茂樹 | 野田　雄祐 | 山東　茂樹 | |
| | | ⑥番 | 当番医<br>【紹介新患診】 | 当番医<br>【紹介新患診】 | 当番医<br>【紹介新患診】 | 当番医<br>【紹介新患診】 | 当番医<br>【紹介新患診】 | |
| | | ⑨番 | 中村　憲太 | ― | リウマチ・膠原病内科診<br>【第１・３・５週】<br>藏本　伸生<br>【第２・４週】<br>田中　克典 | ― | ― | |
| 脳神経外科 | A | ⑫番 | 【第１週目】<br>寺田　友昭<br>【第２週目以降】<br>桑田　俊和 | 林　宣秀 | 桑田　俊和 | 当番医 | 岡田　秀雄 | 火・木 |
| | | ⑬番 | 岡田　秀雄 | 川口　匠 | 川口　匠 | ― | 林　宣秀 | |
| | | ⑭番 | 中西　雄大 | ― | 【第１・３・５週】石井<br>【第２・４週】中西 | ― | 石井　健次 | |
| | | 救急特機 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | |
| 呼吸器・乳腺外科 | A | ③番 | 玉置　剛司<br>（乳腺外来） | 内藤　古真<br>（乳腺外来） | 当番医<br>（再診のみ） | 内藤　古真<br>（乳腺外来） | 内藤　古真<br>（乳腺外来） | 月 |
| 皮膚科 | D | ①番 | 下松　達哉 | 休　診 | 下松　達哉 | 稲田　有亮 | 下松　達哉 | 火 |
| | | ②番 | 稲田　有亮 | | 【第１・２・５週】水﨑<br>【第３・４週】稲田 | 水﨑　杏奈 | 水﨑　杏奈 | |
| | | 午後予約 | ― | | 学童外来／下松 | ― | ― | |
| 泌尿器科 | C | ①番 | 鈴木　淳史 | 若宮　崇人 | 休　診 | 鈴木　淳史 | 当番医 | 水・金 |
| | | ②番 | 若宮　崇人 | 塔筋　央膺 | | 塔筋　央膺 | 山本　脩人<br>（腎臓内科） | |
| 産婦人科 | D | ⑩番 | 竹中　由夏 | 当番医 | （午前）久米川　綾<br>（午後）阿南　有紀 | 当番医 | 久米川　綾 | 火・木 |
| | | ⑫番 | 矢本　希夫 | 助産外来（予約制） | 矢本　希夫 | 助産外来（予約制） | 当番医 | |
| | | ⑮番 | 谷本　敏 | ― | 竹中　由夏 | 谷本　敏 | 阿南 有紀 | |
| | | 午後予約 | ― | ― | ― | 母親教室（予約制） | ― | |
| 眼科 | D | ⑤番 | （午前）坂東　肇 | 芦田　淳 | 芦田　淳 | 芦田　淳<br>（予約制） | （午前）芦田　淳 | 月・木 |
| | | | （午後）芦田　淳 | | | | 第1週のみ<br>（午後）三村　治 | |
| | | ⑥番 | ― | 佐々木　秀一朗 | 佐々木　秀一朗 | 佐々木　秀一朗<br>（予約制） | (午後)佐々木　秀一朗 | |
| | | 午後予約 | ― | 検査（予約制） | 検査（予約制） | ― | 第3週・コンタクト（予約） | |
| 耳鼻いんこう科 | C | ⑤番 | 小上　真史 | 休　診 | 森山　智美 | 森山　智美 | 小上　真史 | 火・水・金 |
| | | ⑥番 | 福田　祐也 | | ― | 福田　祐也 | ― | |
| | | ⑦番 | ― | | ― | ― | ― | |
| | | 午後予約 | 嚥下外来<br>小上　真史 | | 嚥下外来<br>小上 ／ 担当医 | 第２・４週<br>補聴器外来・当番医 | 嚥下外来<br>小上　真史 | |
| リハビリテーション科 | D | 1診 | 松本　朋子 | 松本　朋子 | 松本　朋子 | 松本　朋子 | 松本　朋子 | ― |
| | | 2診 | 野中　都 | 野中　都 | 野中　都 | 野中　都 | 野中　都 | |
| 放射線科 | | 1診 | 三谷　康幸 | 三谷　康幸 | 三谷　康幸 | 三谷　康幸 | 三谷　康幸 | ― |
| | | 2診 | 塩谷　健 | 塩谷　健 | 塩谷　健 | 塩谷　健 | 塩谷　健 | |
| 女性専用外来<br>【完全予約制】 | A・D | 午後<br>【予約制】<br>A⑦番<br>D⑫番 | ― | 第４週<br>婦人科外来<br>笠野　有里 | 第１・２・３・４週<br>総合(漢方）外来<br>辰田　仁美 | 第１週<br>乳腺・肛門外来<br>浦　希未子 | ― | ― |
| | | | | ― | 第１週<br>漢方外来<br>松本　朋子 | 第２・４週<br>漢方外来<br>神人　美報子 | | |
| 専門外来 | 健診センター【予約制】 | | 禁煙外来（14:00～14:30）<br>庄野　剛史 | ― | ― | 禁煙外来（14:00～14:30）<br>庄野　剛史 | ― | ― |
| | | | ― | | | 肥満外来（15:00～16:00）<br>中　啓吾 | | |

（注1）
1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
2.呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
3.母親教室は、毎週木曜日 １４時～１６時です。（予約制）
4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。（予約制）
5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、１３時～１５時となっております。
6.糖尿病教室は、平日月曜日～金曜日に開催しております。詳細ついては内科外来にお問合せください。
7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号（073-451-3303）までお申込みください。
8.各診療科の専門外来については、病院代表番号（073-451-3181）を通じて各専門外来までお問合せください。
9.整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
１０.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

（注2）
セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室（073-451-3186）までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずにご来院されますと、担当医師が対応できない場合があり、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》

【予約専用電話】　073-451-3186

お問い合せは　和歌山ろうさい病院 医事課　TEL.073-451-3181（代）
FAX.073-451-3788（医事課直通）